



## 2018年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月8日

上場会社名 株式会社資生堂 上場取引所 東  
 コード番号 4911 URL <https://www.shiseidogroup.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO (氏名) 魚谷 雅彦  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 北川 晴元 (TEL) 03-3572-5111  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト等向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年12月期第3四半期の連結業績 (2018年1月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第3四半期	805,760	10.2	101,412	43.5	102,663	45.9	64,000	—
2017年12月期第3四半期	731,201	17.4	70,654	82.4	70,370	84.2	△16,958	—

(注) 包括利益 2018年12月期第3四半期 65,033百万円(—%) 2017年12月期第3四半期 △8,907百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第3四半期	160.23	160.04
2017年12月期第3四半期	△42.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第3四半期	988,062	491,205	47.5
2017年12月期	949,425	445,872	44.6

(参考) 自己資本 2018年12月期第3四半期 469,598百万円 2017年12月期 423,447百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	12.50	—	15.00	27.50
2018年12月期	—	20.00	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2018年12月期の連結業績予想 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,090,000	8.5	110,000	36.8	110,000	36.9	67,000	194.5	167.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。詳細については、【添付資料】10ページ「2. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年12月期3Q	400,000,000株	2017年12月期	400,000,000株
2018年12月期3Q	673,079株	2017年12月期	460,033株
2018年12月期3Q	399,427,535株	2017年12月期3Q	399,445,426株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 又は純損失 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 又は純損失 (円)
2018年12月期 第3四半期累計期間	805,760	101,412	102,663	64,000	160.23
2017年12月期 第3四半期累計期間	731,201	70,654	70,370	△16,958	△42.45
増減率	10.2%	43.5%	45.9%	—	—
外貨増減率	9.7%				

当第3四半期連結累計期間(2018年1月1日～2018年9月30日)の国内における景況感は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。国内化粧品市場は、台風や地震による影響があったものの、全体として回復基調が継続したことに加え、増加傾向が続く訪日外国人によるインバウンド需要もあり、堅調に推移しました。海外化粧品市場は、国によりばらつきがみられる欧州は弱い成長にとどまり、米州は成長が鈍化しているものの、中国やその他アジアでは堅調な成長が継続しました。

当社は2015年に、100年先も輝き続ける企業となるため、6年間の中長期戦略「VISION 2020」をスタートさせました。「世界で勝てる日本発のグローバルビューティーカンパニー」の実現に向けて、すべての活動をお客さま起点とし、グローバルでブランド価値向上に取り組んでいます。

当期は、「VISION 2020」の第2フェーズである新3カ年計画の初年度であり、「成長加速の新戦略」の実行に取り組んでいます。売上の成長加速をめざし、プレステージブランド事業を軸に積極的なマーケティング投資を継続しながら、デジタル化の加速や新事業開発、さらにイノベーションによる新価値創造を進めています。また、すべての価値を生み出す人材こそが成長の源泉と考え、人材への投資を積極的に行っています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、戦略的に投資強化を続けているプレステージ領域が全体を牽引し、現地通貨ベースで前年比9.7%増、前期のZotos International Inc. (以下、ゾートス社)譲渡影響等を除く実質ベースでは前年比14%増となりました。地域では、主に中国のお客さまを対象としてアジア全域でクロスボーダーマーケティングを戦略的に実施した中国やトラベルリテールが成長を牽引しました。円換算後では、前年比10.2%増の8,058億円となりました。

積極的にマーケティング投資を強化している中、収益性の高いプレステージブランド等の好調によりコスト構造が大きく改善し、日本、中国、トラベルリテールなどが利益拡大に大きく貢献したことから、営業利益は前年比43.5%増の1,014億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は640億円となりました。なお、前期は、Bare Escentuals, Inc.に係る無形固定資産等の減損損失を特別損失として計上しています。

当第3四半期連結累計期間における財務諸表項目(収益及び費用)の主な為替換算レートは、1ドル=109.6円、1ユーロ=131.0円、1中国元=16.9円となっています。

【連結】

(単位：百万円)

区分	当第3四半期 (累計)	構成比	前第3四半期 (累計)	構成比	増減	増減率	外貨 増減率	セグメント間の内部売上高 又は振替高を含めた売上高		
								当第3四半期 (累計)	前第3四半期 (累計)	
売上高	日本事業	340,143	42.2%	310,582	42.5%	29,560	9.5%	9.5%	363,744	332,305
	中国事業	140,540	17.5%	105,353	14.3%	35,187	33.4%	31.9%	140,800	105,469
	アジアパシフィック事業	51,878	6.4%	45,166	6.2%	6,711	14.9%	13.2%	53,386	46,340
	米州事業	94,559	11.7%	94,079	12.8%	479	0.5%	2.2%	122,174	105,235
	欧州事業	75,072	9.3%	72,403	9.9%	2,668	3.7%	△1.1%	84,064	79,396
	トラベルリテール事業	67,256	8.3%	48,655	6.7%	18,601	38.2%	38.8%	67,377	48,748
	プロフェッショナル事業	14,937	1.9%	34,810	4.8%	△19,873	△57.1%	△57.4%	15,246	35,103
	その他	21,373	2.7%	20,149	2.8%	1,223	6.1%	6.1%	100,227	76,435
	小計	805,760	100.0%	731,201	100.0%	74,559	10.2%	9.7%	947,023	829,034
調整額	—	—	—	—	—	—	—	△141,262	△97,833	
合計	805,760	100.0%	731,201	100.0%	74,559	10.2%	9.7%	805,760	731,201	

(単位：百万円)

区分	当第3四半期 (累計)	売上比	前第3四半期 (累計)	売上比	増減	増減率	
営業利益又は損失	日本事業	71,703	19.7%	64,338	19.4%	7,365	11.4%
	中国事業	23,452	16.7%	11,151	10.6%	12,301	110.3%
	アジアパシフィック事業	7,129	13.4%	6,718	14.5%	411	6.1%
	米州事業	△9,611	△7.9%	△12,472	△11.9%	2,860	—
	欧州事業	△4,759	△5.7%	△3,213	△4.0%	△1,546	—
	トラベルリテール事業	14,990	22.2%	12,269	25.2%	2,721	22.2%
	プロフェッショナル事業	610	4.0%	2,029	5.8%	△1,419	△69.9%
	その他	1,019	1.0%	△4,368	△5.7%	5,388	—
	小計	104,534	11.0%	76,452	9.2%	28,082	36.7%
調整額	△3,122	—	△5,798	—	2,675	—	
合計	101,412	12.6%	70,654	9.7%	30,757	43.5%	

- (注) 1 当期より、当社グループ内の経営管理体制に合わせ、報告セグメントの区分方法を見直しています。従来「欧州事業」に計上していたアジアパシフィックのフレグランス事業は「アジアパシフィック事業」へ、「欧州事業」に計上していたトラベルリテールのフレグランス事業は「トラベルリテール事業」へ、「その他」に計上していた「2e (ドゥーエ)」と「NAVISION」は「日本事業」へ計上しています。また、業績管理区分の一部見直しに伴い、「米州事業」に計上していた「NARS」「bareMinerals」「Laura Mercier」のうち各地域で展開している一部の代理店商流の事業については、「アジアパシフィック事業」「欧州事業」「トラベルリテール事業」へ計上しています。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。
- 2 当第3四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制変更に合わせて、従来「日本事業」に計上していた(株)イブサの業績は「その他」へ計上しています。当第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。
- 3 「その他」は、本社機能部門、(株)イブサ、生産事業、フロンティアサイエンス事業(化粧品原料、医療用医薬品)及び飲食業などを含んでいます。
- 4 営業利益又は損失における売上比は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高に対する比率です。
- 5 営業利益又は損失の調整額は、主にセグメント間の取引取消の金額です。

各報告セグメントの概況は次のとおりです。

#### 【日本事業】

日本事業では、中高価格帯のブランドが引き続き成長しました。とりわけ、メイクアップ商品をリニューアルした「SHISEIDO」や、しわ改善クリームが新たなお客さまの拡大に貢献した「エリクシール」が高い成長性を確保しました。7月以降に台風や地震による影響があったものの、アジア全域でのクロスボーダーマーケティングの強化により拡大するインバウンド需要を確実に獲得したことなどにより、売上高は前年比9.5%増の3,401億円となりました。営業利益は、マーケティング投資を強化している一方、売上増に伴う差益増や原価率の低減などが寄与し、前年比11.4%増の717億円となりました。

#### 【中国事業】

中国事業では、「SHISEIDO」、「クレ・ド・ポー ボーテ」、「イブサ」などのプレステージブランドが高成長を継続したことに加え、コスメティクスブランドではメイド・イン・ジャパンブランドである「アネッサ」や「エリクシール」が大きく伸長したことなどにより、売上高は現地通貨ベースで前年比31.9%増、円換算後では前年比33.4%増の1,405億円となりました。営業利益は、売上増に伴う差益増やマーケティング投資効率の向上に加え、取引制度改定に伴う「Za」及び「PURE&MILD」の収益性向上などにより、前年比110.3%増の235億円となりました。

#### 【アジアパシフィック事業】

アジアパシフィック事業では、「NARS」や「SHISEIDO」などのプレステージブランドが好調を継続したことに加え、「アネッサ」や「SENKA」が大きく伸長したことなどにより、韓国やタイなどで着実に成長を実現し、売上高は現地通貨ベースで前年比13.2%増、円換算後では前年比14.9%増の519億円となりました。営業利益は、売上増に伴う差益増などにより、前年比6.1%増の71億円となりました。

#### 【米州事業】

米州事業では、収益性が低い直営店の閉鎖など構造改革に取り組んでいる「bareMinerals」の売上が前年を下回った一方、「SHISEIDO」、「NARS」、「Laura Mercier」などのプレステージブランドが成長を継続したほか、フレグランスブランドの「Dolce&Gabbana」が好調に推移したことなどにより、売上高は現地通貨ベースで前年比2.2%増、円換算後では前年比0.5%増の946億円となりました。前期に実施したバーバリー社とのディストリビューション契約終了と「RéVive」譲渡の影響を除いた実質外貨前年比は7%増でした。売上増に伴う差益増などにより、営業損失は前年に対し29億円減の96億円となりました。

#### 【欧州事業】

欧州事業では、「Dolce&Gabbana」は好調に推移した一方、その他のフレグランスの売上が前年を下回ったことなどにより、売上高は現地通貨ベースで前年比1.1%減、円換算後では前年比3.7%増の751億円となりました。バーバリー社とのディストリビューション契約終了の影響を除いた実質外貨前年比は2%増でした。売上減に伴う差益減に加え、マーケティング投資の強化などにより、営業損失は前年に対し15億円増の48億円となりました。

#### 【トラベルリテール事業】

トラベルリテール事業では、世界各地の空港での広告宣伝強化など積極的なマーケティング投資の効果により、アジアを中心に「SHISEIDO」、「クレ・ド・ポー ボーテ」、「NARS」、「アネッサ」が前年を大きく上回る伸長を継続したことから、売上高は現地通貨ベースで前年比38.8%増、円換算後では前年比38.2%増の673億円となりました。バーバリー社とのディストリビューション契約終了の影響を除いた実質外貨前年比は45%増でした。営業利益は、売上増に伴う差益増などにより、前年比22.2%増の150億円となりました。

#### 【プロフェッショナル事業】

プロフェッショナル事業では、中国やアジアパシフィック地域が好調に推移した一方、前期にゾートス社を譲渡した影響により、売上高は現地通貨ベースで前年比57.4%減、円換算後では前年比57.1%減の149億円となりました。ゾートス社譲渡の影響を除いた実質外貨前年比は1%増でした。営業利益は、売上減に伴う差益減などにより、前年比69.9%減の6億円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2018年8月8日に公表した見通しから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	166,698	136,692
受取手形及び売掛金	162,058	172,916
有価証券	7,781	1,911
たな卸資産	129,954	148,356
繰延税金資産	25,467	27,775
その他	36,012	37,367
貸倒引当金	△1,727	△2,070
流動資産合計	526,245	522,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	162,538	161,639
減価償却累計額	△104,382	△105,070
建物及び構築物（純額）	58,156	56,568
機械装置及び運搬具	81,175	83,688
減価償却累計額	△63,367	△64,074
機械装置及び運搬具（純額）	17,808	19,613
工具、器具及び備品	81,783	82,366
減価償却累計額	△56,520	△56,958
工具、器具及び備品（純額）	25,262	25,408
土地	36,971	36,046
リース資産	7,244	8,063
減価償却累計額	△3,957	△3,494
リース資産（純額）	3,286	4,569
建設仮勘定	17,196	59,674
有形固定資産合計	158,681	201,880
無形固定資産		
のれん	12,166	13,372
リース資産	247	214
商標権	121,347	116,147
その他	34,825	40,107
無形固定資産合計	168,586	169,841
投資その他の資産		
投資有価証券	26,280	24,078
長期貸付金	90	88
長期前払費用	13,991	14,809
繰延税金資産	30,658	26,996
その他	25,131	27,483
貸倒引当金	△241	△65
投資その他の資産合計	95,910	93,391
固定資産合計	423,179	465,112
資産合計	949,425	988,062

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,140	39,109
電子記録債務	37,892	58,271
短期借入金	8,540	6,393
1年内返済予定の長期借入金	731	731
リース債務	1,391	1,715
未払金	59,903	49,678
未払法人税等	25,032	17,522
返品調整引当金	14,012	8,406
返金負債	-	5,049
賞与引当金	25,019	29,074
役員賞与引当金	119	147
危険費用引当金	2,005	1,133
事業撤退損失引当金	-	2,922
その他	67,590	67,647
流動負債合計	291,379	287,802
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	28,835	28,470
リース債務	1,966	2,445
長期未払金	59,255	56,744
退職給付に係る負債	73,745	71,147
債務保証損失引当金	350	350
環境対策引当金	260	124
繰延税金負債	3,762	3,670
その他	3,998	6,102
固定負債合計	212,173	209,055
負債合計	503,552	496,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,506	64,506
資本剰余金	70,808	70,804
利益剰余金	271,681	321,645
自己株式	△874	△3,079
株主資本合計	406,121	453,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,664	7,002
為替換算調整勘定	28,726	25,097
退職給付に係る調整累計額	△20,064	△16,379
その他の包括利益累計額合計	17,326	15,721
新株予約権	874	984
非支配株主持分	21,550	20,622
純資産合計	445,872	491,205
負債純資産合計	949,425	988,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
売上高	731,201	805,760
売上原価	168,398	170,095
売上総利益	562,803	635,665
販売費及び一般管理費	492,148	534,253
営業利益	70,654	101,412
営業外収益		
受取利息	587	890
受取配当金	306	302
持分法による投資利益	238	213
受取家賃	542	537
補助金収入	10	2,803
その他	869	941
営業外収益合計	2,555	5,687
営業外費用		
支払利息	664	563
為替差損	426	2,260
その他負債の利息	1,019	1,049
その他	728	562
営業外費用合計	2,839	4,435
経常利益	70,370	102,663
特別利益		
固定資産売却益	940	628
投資有価証券売却益	299	2,715
事業譲渡益	-	48
関係会社株式売却益	211	-
特別利益合計	1,451	3,392
特別損失		
固定資産処分損	895	781
減損損失	70,710	-
投資有価証券売却損	6	-
事業撤退損	-	3,586
構造改革費用	1,030	310
商品自主回収関連費用	3,264	-
関係会社整理損	136	-
人事制度改編に伴う一時費用	130	-
特別損失合計	76,174	4,678
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,353	101,377
法人税、住民税及び事業税	23,745	34,962
法人税等調整額	△13,446	△633
法人税等合計	10,298	34,329
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,652	67,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,306	3,047
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,958	64,000

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△14,652	67,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	938	△1,581
為替換算調整勘定	△460	△4,140
退職給付に係る調整額	5,301	3,698
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	8
その他の包括利益合計	5,744	△2,014
四半期包括利益	△8,907	65,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,474	62,395
非支配株主に係る四半期包括利益	2,566	2,637

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

事業譲渡益

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

Zotos International Inc.の株式の譲渡に伴う精算金です。

事業撤退損

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

一部ブランドの収束、及び業務用化粧品販売事業等の撤退に関連する費用です。

構造改革費用

当第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

世界全地域で推進中の構造改革に伴う臨時的な費用のうち、早期退職者の割増退職金及びBare Escentuals Beauty, Inc.の直営店の閉鎖に係るものです。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理していましたが、第1四半期連結会計期間より売上高から控除しています。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

また、本基準の適用に伴い、四半期連結貸借対照表の表示方法を変更しています。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において、返品調整引当金が5,049百万円減少し、返金負債が5,049百万円増加しています。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。